

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人 里山子ども園わたぼうし
テーマ名	新型コロナウイルス感染症対応事業
事業名	プレーパークが実現するコロナ禍に負けない子どもの育ちと居場所作り事業
事業費(うち助成金額)	600,000 円



■事業目的

コロナ禍によって教育に求められるものや、そのあり方自体が再び見直されようとしている中であっても、人と人との関わり、結びつきは必要であり、今後はそれがより重要となるはずで。そのような結びつきを育くみ、子どもたちはもちろんのこと、その子どもを取り巻く大人も生き生きと過ごせる場所や機会を作りたいという思いから今回のプレーパーク作りの事業を提案しました。

■事業内容

プレーパークとして使用する園庭とその隣接地の整備、休憩場所となる小屋の一部分（屋根）の修繕と、小屋の中にあつた不用品の撤去を行った。
整備を進めながら遊具の作成、設置を兼ねたワークショップイベントを行い、イベント参加者の協力を得ながら遊具を完成させた。遊具の作成においては、地元の建築系の学校の講師の方に設計やデザインの手伝いをしていただいた。
プレーパークの整備や遊具の設置に関しては実践者を招いて指導やアドバイスをいただいた。
プレーパークの整備、遊具の設置等を進めながら 10 月より 3 回ほどイベントを行った後、2 月より正式にプレーパーク活動を開始する。

■事業成果と今後の展望

プレーパーク作りでは遊び場作りに興味のある人やボランティア、子どもたちと共に作り上げていったことで、関わった人たちのプレーパークに対する愛着も生まれ、イベントがある度に多くの人々が駆けつけてくれている。完成形というものはなく、やりたいことや想いを体現できる場ということで、ブランコや滑り台、畑づくりなど、様々な遊具や遊びのアイデアが利用者の方から出てきて、それを実現しようとする姿が見られる。

また、コロナ禍であるからこそ、野外での活動や体験を通しての学び、人との交流の機会や場は貴重であり、そこに価値を見出した多くの人々の賛同を得ながらイベントの運営等を行っている。

今後は「ここに来れば大丈夫」と全ての人が思えるような、そんなみんなの居場所となるように環境等を引き続き整備し、整えて行きたい。